

「森林のボランティア活動」



2022年2月21日
オンライン開催

森ボラ協議会

幹事：大窪 健一

幹事：矢野 眞仁

事務所所在地：北海道札幌市

内容

1. 会の概要
 2. 澄川環境林
 3. 有明第二環境林
 4. 支笏湖水明郷の森
 5. その他の活動
 6. 問題点など
- おわりに



1. 会の概要

- 『森ボラ協議会』は「NPO法人 北海道森林ボランティア協会」の森林・山村多面的機能発揮対策交付金の活動受皿として平成25年6月設立。
- 「NPO法人 北海道森林ボランティア協会」は平成14年設立、平成16年5月NPO法人資格取得。
- 会の目的：地球環境の向上や自然との共生を願う同志が集い、森林の育成・保全、次世代への継承を目的とした活動を展開。

【活動地】

多面活動対象地：「札幌市澄川都市環境林」	面積65.1ha
「札幌市有明第二都市環境林」	面積14.0ha
「千歳市国有林5456林班は林小班 水明郷の森」	面積17.8ha

その他の主な活動地：国有林千歳市3カ所	面積	35.5ha
国有林苫小牧市1カ所	面積	7.1ha
国有林江別市1カ所	面積	1.1ha
道有林江別市1カ所	面積	1.3ha



有明環境林

水明郷の森

澄川環境林

【活動内容】

林内活動：整理伐(倒木、傾斜木、枯損木の整理、受光間伐)、
地拵え、植栽、下草刈り、作業道整備(木道を含む)
整理伐材を活用した製材・マキ・キノコ作り
避難小屋作り、資機材保管小屋作成、枝葉処理(チップ-)
動物食害防止網・ツリシールド設置、清掃活動
標準木調査、水質・水生昆虫調査

啓発・教育活動：安全教育（熱中症対策、刈払い機・伐倒安全講習、
令和3年度多面対策チエンソーの技能・安全研修参加

【活動頻度】

林内活動：46日/年（＊近年はコロナの影響で70～80%程）

啓発・教育活動： 8日/年

【規模】

会 員 数：70名（2021年4月現在、80%程が退職者）

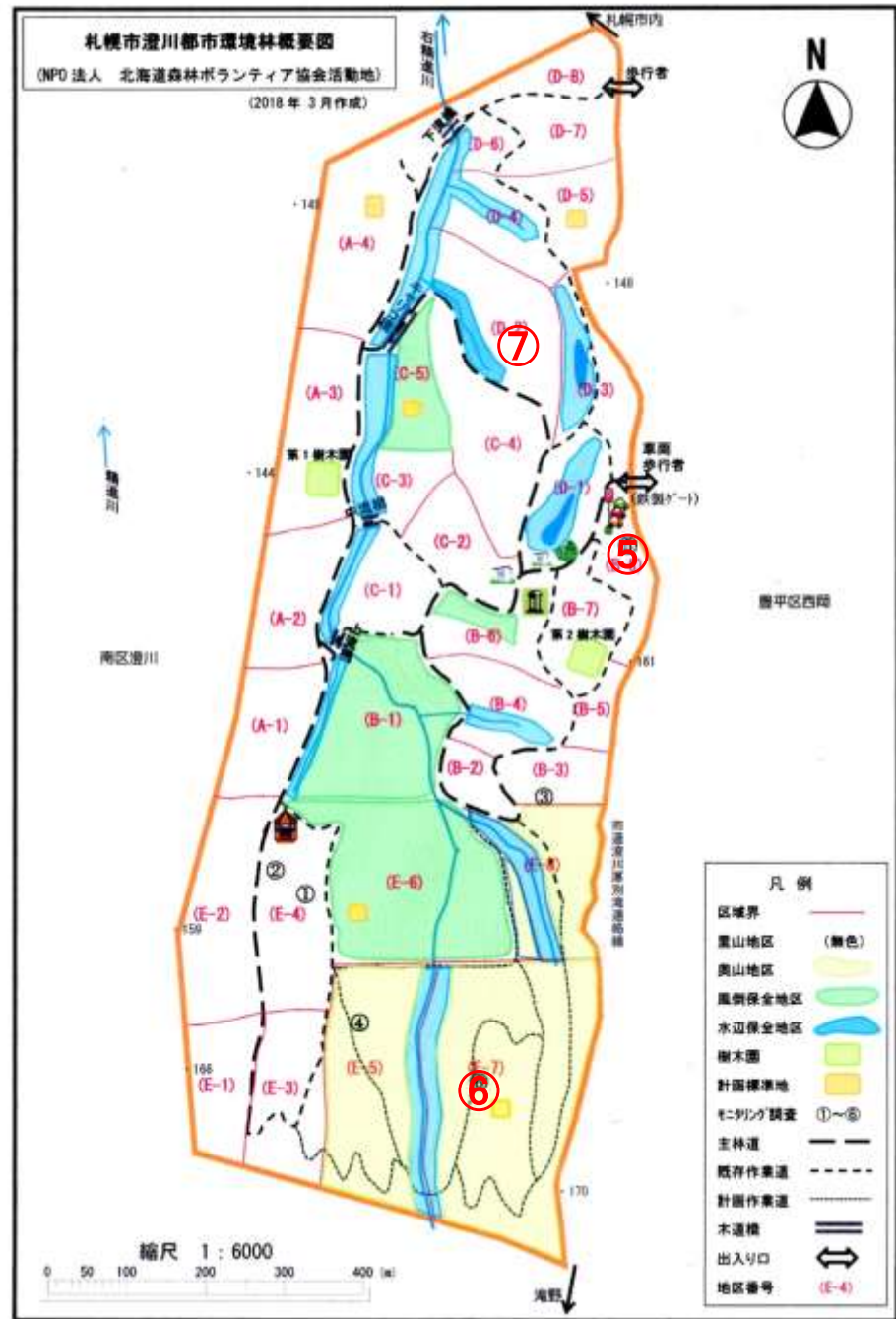
活動日参加者：10～25名/回（平均17名）

2. 澄川環境林(65.1ha)

目標:「豊かな生き物を育む
巨木の森」

平成25年から
多面交付金で活動中

令和3年度のモニタリング
調査地: ⑤ ⑥ ⑦





植栽列の下草刈り



キノコ栽培



作業道整備（階段設置）



チップー作業



右精進川の水質調査



水生昆虫の調査



整理伐材の人力運搬



チェーンソーでの整理伐作業

澄川モニタリング調査

令和3年度 澄川モニタリング調査目標・結果

調査区 タイプ名	目標	モニタリング方法	初回モニタリング 結果	最終年結果	目標達成度
澄川⑤(B-8区) 混みあった林をすっきりし て、健全な森にしたい (面積:10m×10m=100㎡)	<ul style="list-style-type: none"> ・相対幹距比3.0ポイントUP ・胸高断面積20～30%減 	<ul style="list-style-type: none"> ・高木になる樹種、本数、 樹高、胸高周長の調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・上層木本数:15本 ・代表木樹高:17.5m ・相対幹距比:14.8 ・胸高断面積:53.64㎡ (令和元年度調査) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上層木本数:8本 ・代表木樹高:21.2m ・相対幹距比:16.7 ・胸高断面積:34.56㎡ (令和3年度調査) 	<ul style="list-style-type: none"> ・相対幹距比1.9UP ・胸高断面積35.6%減
澄川⑥(E-7区) 混みあった林をすっきりし て、健全な森にしたい (面積:20m×20m=400㎡)	<ul style="list-style-type: none"> ・相対幹距比3.0ポイントUP ・胸高断面積20～30%減 	<ul style="list-style-type: none"> ・高木になる樹種、本数、 樹高、胸高周長の調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・上層木本数:30本 ・代表木樹高:19.6m ・相対幹距比:18.6 ・胸高断面積:39.09㎡ (令和元年度調査) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上層木本数:22本 ・代表木樹高:18.9m ・相対幹距比:22.6 ・胸高断面積:29.00㎡ (令和3年度調査) 	<ul style="list-style-type: none"> ・相対幹距比4.0UP ・胸高断面積25.8%減
澄川⑦(D-2区) 混みあった林をすっきりし て、健全な森にしたい (面積:10m×10m=100㎡)	<ul style="list-style-type: none"> ・相対幹距比3.0ポイントUP ・胸高断面積20～30%減 	<ul style="list-style-type: none"> ・高木になる樹種、本数、 樹高、胸高周長の調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・上層木本数:13本 ・代表木樹高:21.4m ・相対幹距比:13.0 ・胸高断面積:63.07㎡ (令和2年度調査) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上層木本数:7本 ・代表木樹高:21.4m ・相対幹距比:17.7 ・胸高断面積:46.65㎡ (令和3年度調査) 	<ul style="list-style-type: none"> ・相対幹距比4.7UP ・胸高断面積26.0%減

* 調査対象樹木は胸高直径5cm以上

澄川モニタリング⑤(B-8区)



令和元年度 (2019)の状況



令和3年度 (2021)の状況

澄川モニタリング⑥(E-7区)



令和元年度(2019)の状況



令和3年度(2021)の状況

澄川モニタリング⑦(D-2区)



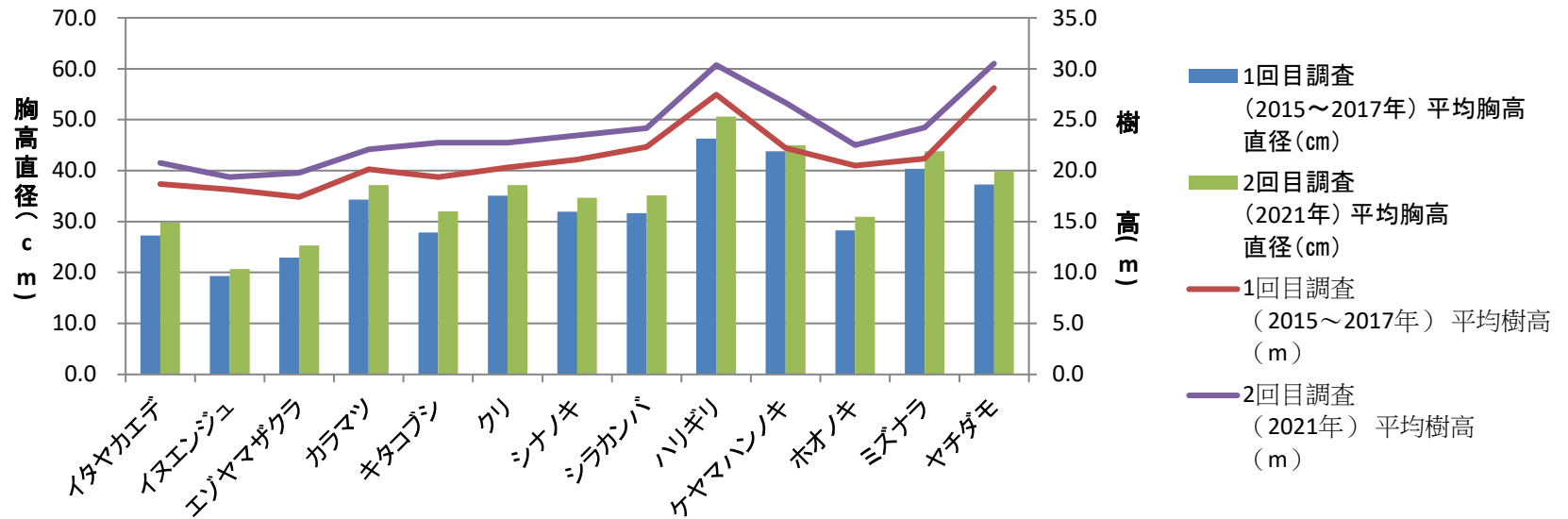
令和2年度(2020)の状況



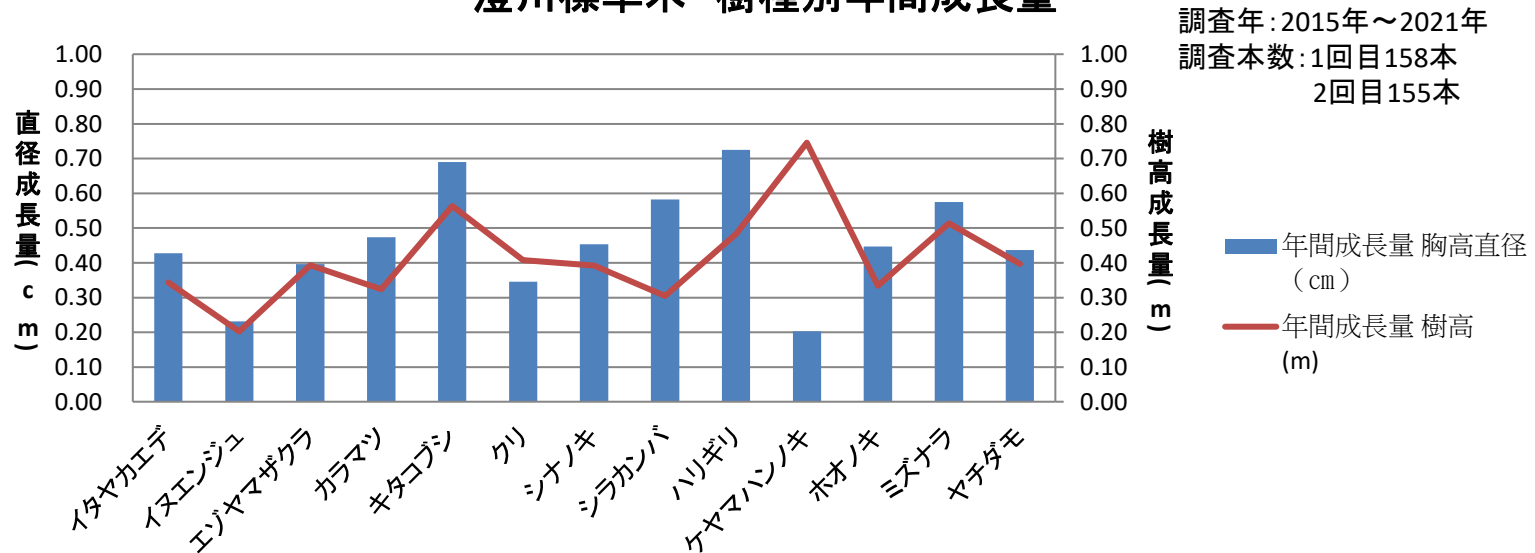
令和3年度(2021)の状況



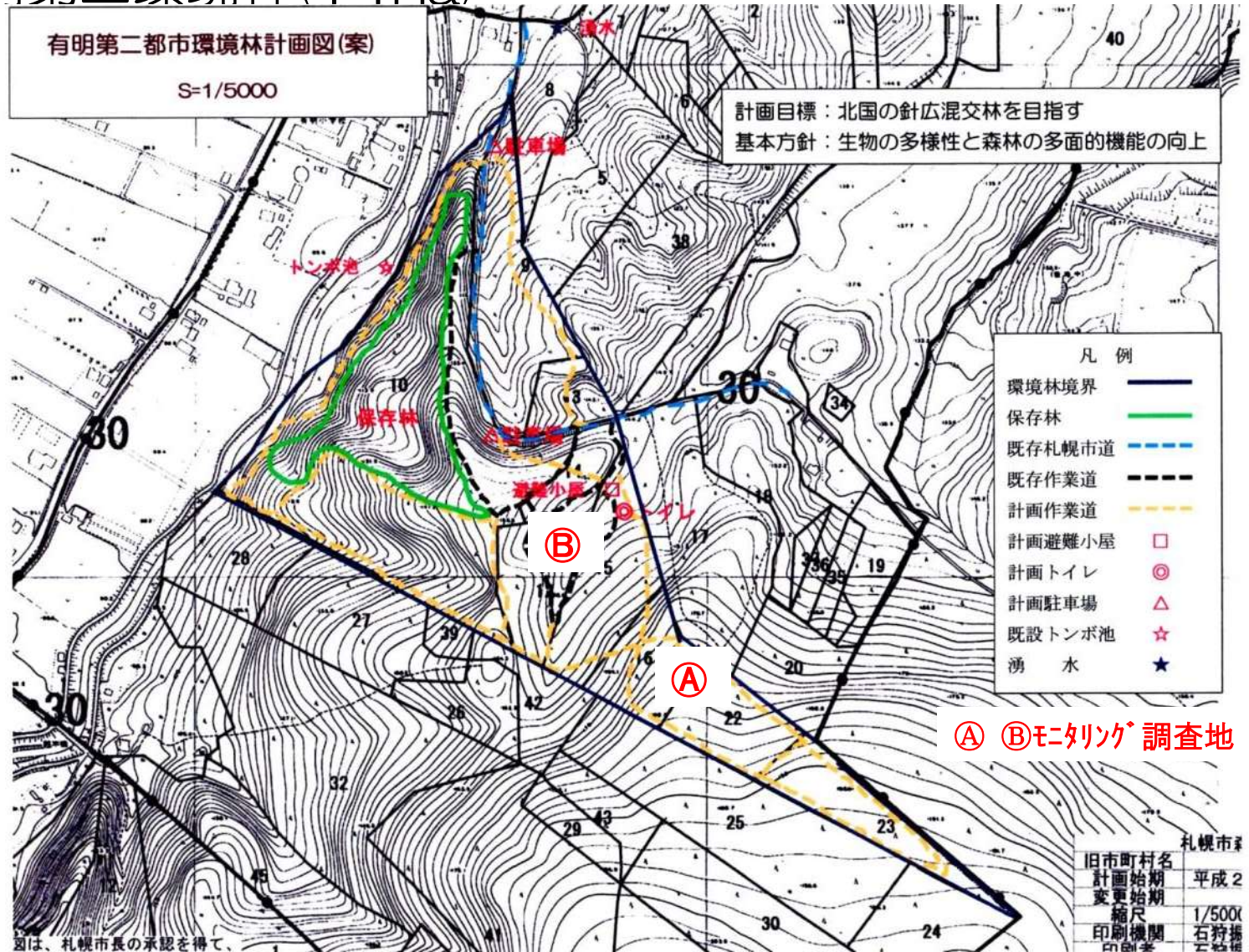
2021年澄川環境林 標準木調査中間報告



澄川標準木 樹種別年間成長量



3. 有明第二環境林(14ha)





食害防止網の補修



生長調査の様子



ツリーシェルターの設置



作業道整備（階段補修）

有明モニタリング B

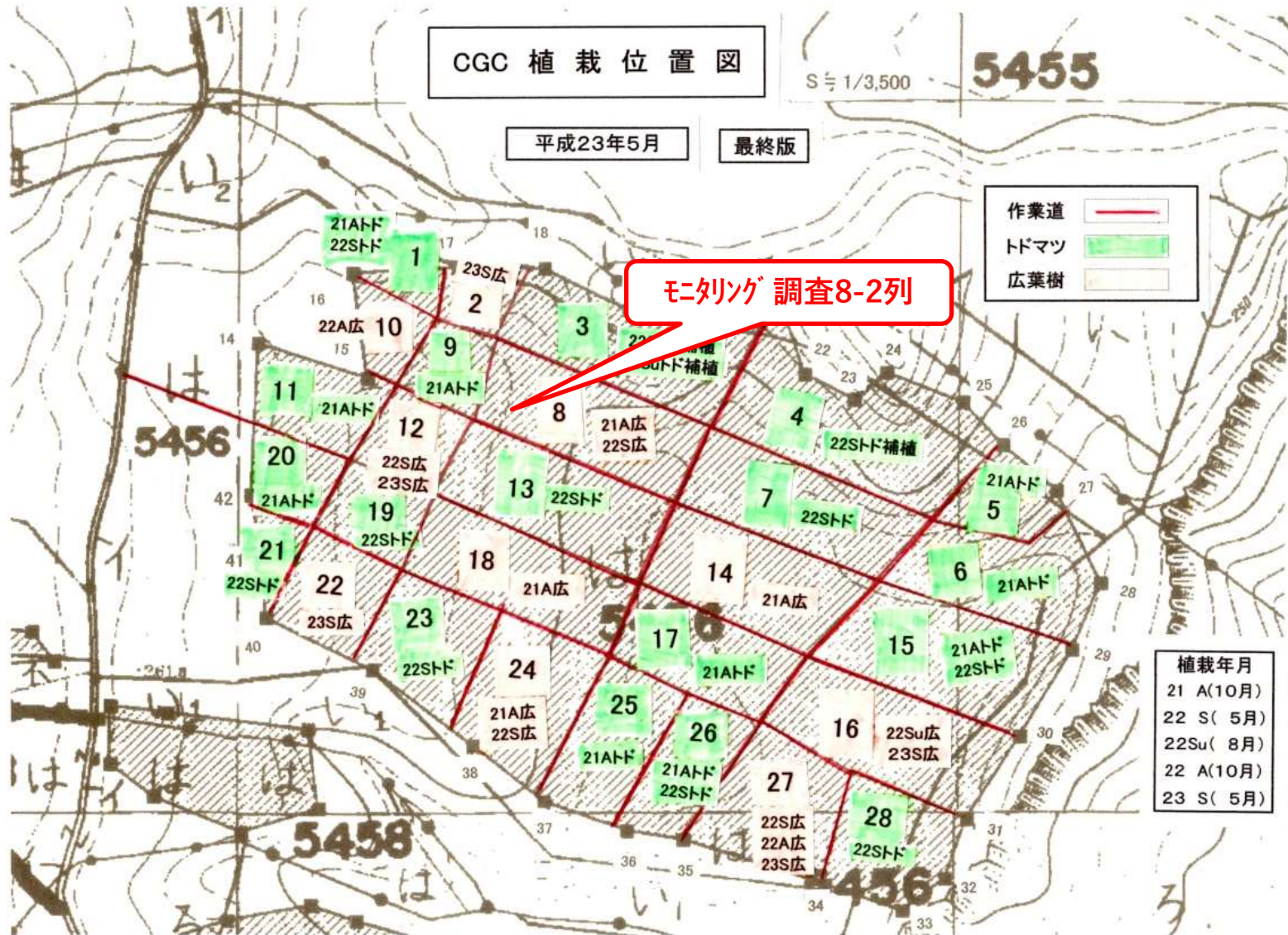


令和元年度(2019)の状況



令和3年度(2021)の状況

4. 水明郷の森 (17.8ha支笏湖周辺)



経緯

- ・ 2004年の台風での倒木被害地
- ・ 2009年から3年間で針葉樹6,000本、広葉樹3,700本植栽
- ・ その後下草刈り、補植等の育林を行ってきた。
- ・ 広葉樹がシカ、ウサギ、ネズミなどの動物による食害が顕著。

*** 2019年から多面事業で広葉樹列にトドマツ1,000本の補植を行う。**

*** その他作業道整備、笹刈りなどを継続して実施しています。**



2021年10月
定点観測地点より



下草刈り



トドマツの補植-
1



モニタリング調査



トドマツの補植-2

5. その他の活動

親子森林教室（年に7回開催）



4月開校式



5月キノコの植菌



10月植樹祭



2月伐採体験

澄川南小学校学習支援（年に15回程）



3年生森の観察会



6年生草刈り体験



5年生森のごみ清掃



6年生卒業記念植樹

6. 問題点など

【モニタリング調査】

①広葉樹2次林におけるモニタリング方法

- ・調査対象樹木の選択では胸高直径5.0cm以上としている。
- ・調査区画10m×10mでは適切な林相場所の選定が難しいので、当会では20m×20mの調査地も設定している。

②広葉樹2次林のモニタリング調査間隔

- ・胸高直径の成長は1年に0.5cm程度なので誤差もあり、交付金対象後は5年間隔と考えている。

【活動の継続】

①会員の高齢化

- ・退職年齢の高齢化に伴い、新入会員といえども高齢化している。
- ・現役世代も参加しやすい環境を整えるため、土日作業日増加を検討中。

②活動場所の固定

- ・札幌周辺では個人所有の民有林が少なく、自由に活動可能な森林も確保し活動地としたい。

③経済的な自立

- ・自己収入の道を模索していますが、森林保全活動は、助成金や補助金なしでは継続が難しいと考えています。

おわりに

このような森林活動が永遠に引き継
がれていくことを願っています！



ご清聴ありがとう
ございました

